

# HOUSE BRACE

## < ハウスブレース 施工要領 >

ハウスブレースの調整は、ねじの向きをご確認頂きました上で、スパナ掛け型押部に、スパナ、モンキー等の工具を用いて行ってください。締付け時は、モンキー等の隙間の少ない、挟み代に余裕のある工具をご使用下さい。

### ハウスブレース取付手順

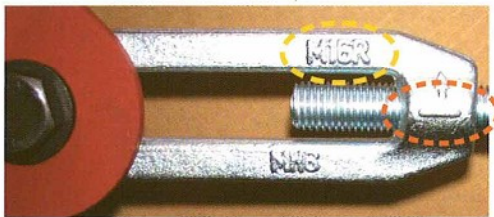
- ① 取付ガセット部にハウスブレースを取付ボルトで上部側より順に取り付けて下さい。この時の取付ボルトは、仮締め程度として下さい。(ジョイント式は施工前に組み立てて下さい。(取扱要領をご参照下さい。))
- ② ハウスブレースを軽く締め付けて、全般にわたり緩みをなくしたのち、順次、全体に均等な張力を導入して下さい。  
注1) 手締めによっても簡単に導入張力をオーバーしてねじ切ってしまう恐れがあるため、十分ご注意下さい。  
注2) 一度に目標張力に締め付けていくと、最初のハウスブレースの張力は、その後のハウスブレースの締め付けによって張力が変化したり、建ち入れに狂いが生じたりする可能性があるため、全体にわたり均等に張力が得られるように何度か締め付けを調整しながら、施工を行ってください。
- ③ 接合部に高力ボルトを使用する場合は、戻り止めの為に張力(一次締め程度以上)を導入して下さい。中ボルトを使用する場合は、必ずスプリングワッシャーなどを用いて、戻り止めの処置を行ってください。
- ④ 施工後はハウスブレースを軽く手でゆするなどしてハウスブレースの張り具合も見ながら、両力が導入されたかを確認して下さい。ジョイント式の場合は、ロックナットのゆるみがないかを再確認して下さい。

### ねじの向きの識別方法

(両端プレート部の刻印をご確認下さい。)

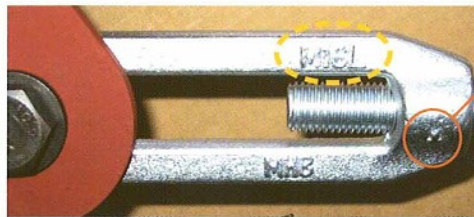
#### ●右ねじ

- ① プレート部にRの刻印があります。  
(例:M16R → <M16右ねじ>を示す。)
- ② ねじ 外径部にマークがあります。  
(コンパクトタイプのみ)



#### ●左ねじ

- ③ プレート部にLの刻印があります。  
(例:M16L → <M16左ねじ>を示す。)

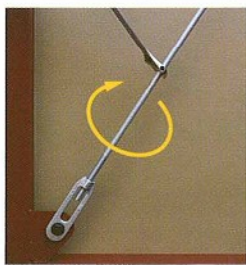


**NEW** プレート側に“↑”を追加。“↑”の方向に丸鋼側を廻すと短く調節できます。プレート側を廻すと長く調節できます。(ロットにより“↑”刻印の無いサイズもございます。)

### ハウスブレース調節方向

#### ●右ねじ側

締付け時：  
プレートに対して丸鋼部を右側に廻すと短く調節できます。



#### ●左ねじ側

締付け時：  
プレートに対して丸鋼部を左側に廻すと短く調節できます。



#### ご注意!!

調整時、片側プレートのみで大きく調整されると、左右調整のバランスが崩れ、調整確認が判りにくなります。微調整以外はブレース側(丸鋼側)で調整を行ってください。

### 締付け時のご注意

- ① 締付け時、ブレースの型押厚さと工具の隙間が大きいと、ブレースに影響を与えたり、工具が抜ける恐れがあり、危険です。
- ② 締付け時、挟み代に余裕の無いスパナでは、力が伝わりにくい上、抜ける恐れがあり危険です。モンキー等の挟み代に余裕のある工具をご使用下さい。



締付け時は  
要注意!!

[ お問合せ先 ]

[ 製造元 ]

暮らしに快適さと豊かさをお届けする  

**港製器工業株式会社**  
 ●本社・工場 / 〒569-8588 大阪府高槻市唐崎中3丁目20番7号  
 TEL.072-677-6641 FAX.072-677-3593  
<http://www.minatoseiki.co.jp>

製品の品質システムに関する国際的な品質規格 (ISO 9001) と環境マネジメントシステム (ISO 14001) の認証を取得しています。

ISO 9001 ISO 14001

